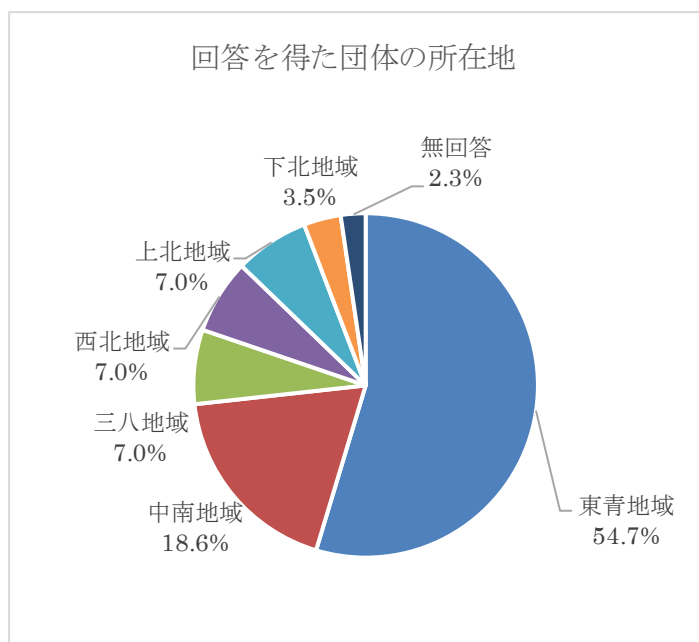


1 アンケート調査結果

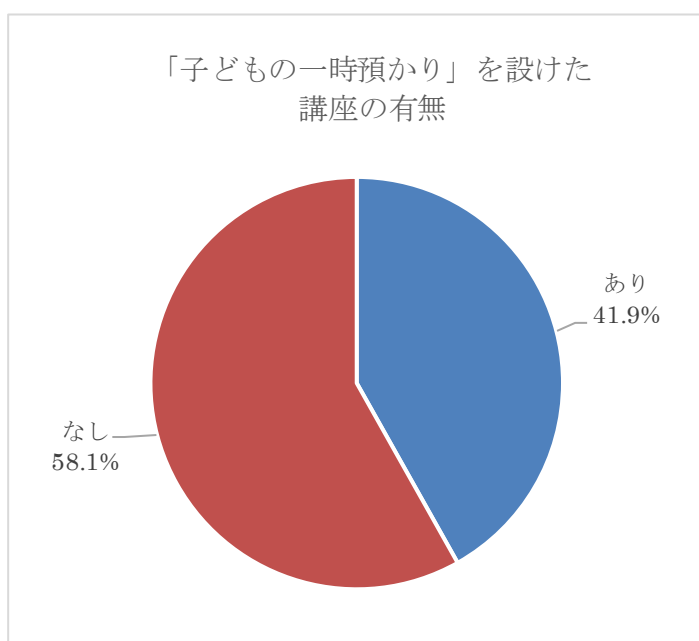
(1) 回答を得た団体の所在地



回答を得た団体の所在地は、東青地域が最も多く 47 件 (54.7%)、次いで中南地域 16 件 (18.6%)、三八地域・西北地域・上北地域が同数の 6 件ずつ (ともに 7.0%)、下北地域 3 件 (3.5%) の順であった。

図 1-1 回答を得た団体の所在地
N=86

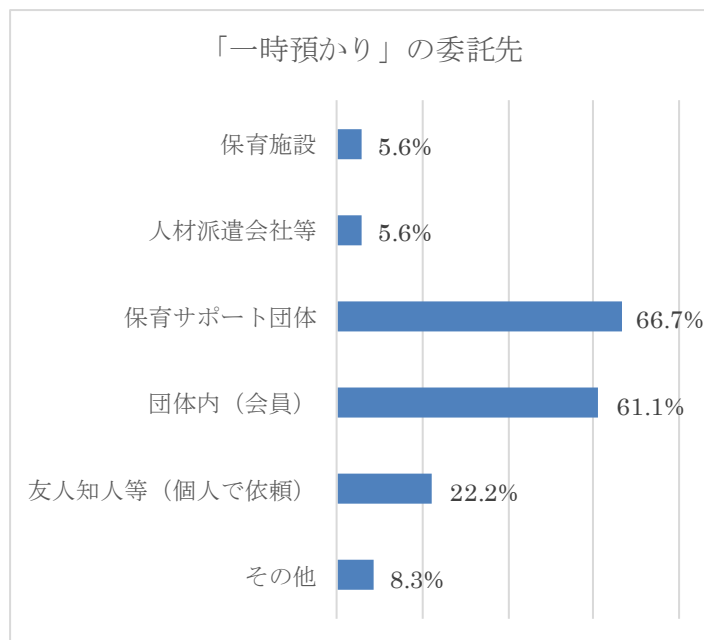
(2) 「子どもの一時預かり」を設けた講座の有無／団体の代表者回答



「子どもの一時預かり」(以下、「一時預かり」と表記する) を設けた講座の有無は、「あり」が 36 件 (41.9%)、「なし」が 50 件 (58.1%) であった。

図 1-2 「子どもの一時預かり」を設けた講座の有無
N=86

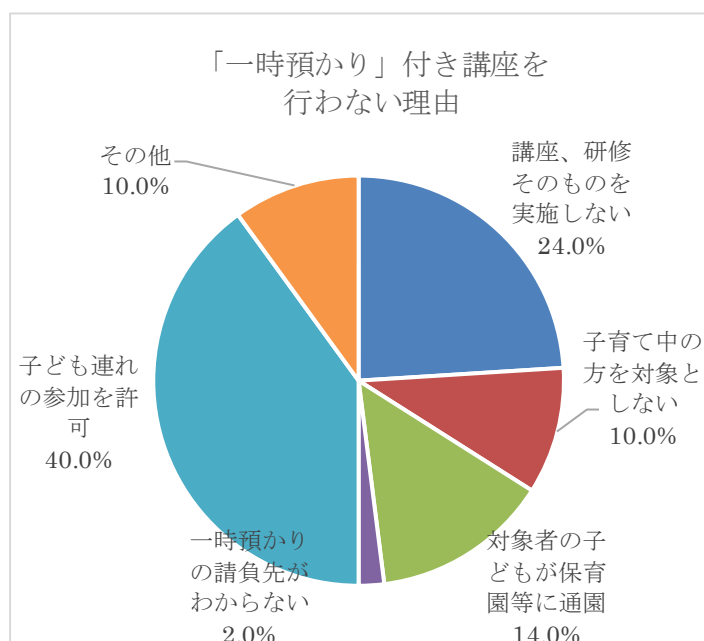
(3) 「一時預かり」の委託先／(2)で「あり」の回答者(複数回答)



「一時預かり」の委託先として最も多く挙げたのが、「保育サポート団体」24件(66.7%)、次いで「団体内(会員)」22件(61.1%)、「友人知人等」に個人で依頼しているケースが8件(22.2%)と続いている。

図 1-3 「一時預かり」の委託先
N=36

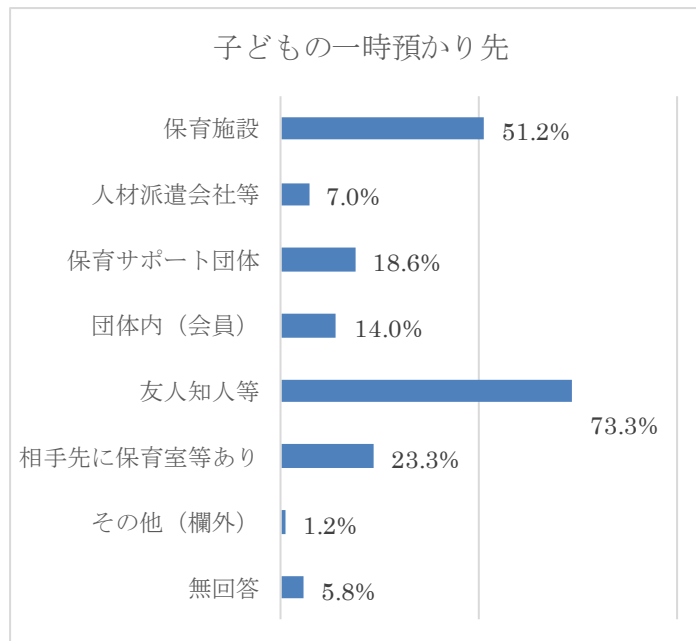
(4) 「一時預かり」付き講座を行わない理由／(2)で「なし」の回答者



「一時預かり」付き講座を行わない団体に対し理由を問うたところ、「子ども連れの参加を許可している」が最も多く20件(40.0%)、次いで「講座、研修そのものを実施しない」が12件(24.0%)、「対象者の子どもが保育園等に通園している」が7件(14.0%)であった。

図 1-4 「一時預かり」付き講座を行わない理由
N=50

(5) 子どもの一時預かり先／団体代表者または会員の子育て経験者（複数回答）



団体の代表者または会員の中で子育て経験のある方に、考えられる一時預かり先を問うた。

最も多かったのは「友人知人等」63人（73.3%）、次いで「保育施設」44人（51.2%）、「相手先に保育室等あり」20人（23.3%）と続いた。

図 1-5 子どもの一時預かり先
N=86